

検査と更年期

エストラジオール（E2）

E2はエストロゲン（卵胞ホルモン）中の一つであり、生理活性のもっとも重要となるホルモンです。

性腺系の発育増殖にも関与するほか、骨の新陳代謝を調整します。

E2を測定すると、卵巢機能の異常などを確認することができます。

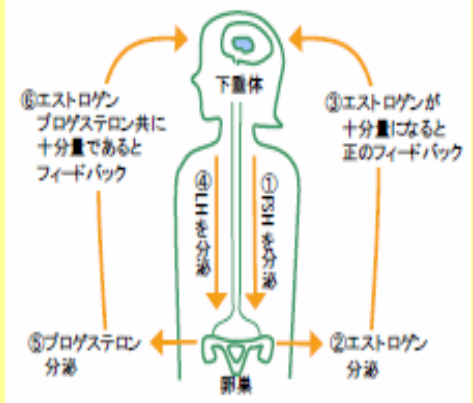
更年期になると入ると結果値が下がってきます。

基準値

（単位：pg/ml）

性周期	検査項目	エストラジオール
卵胞期	前期	20～30
	後期	25～350
排卵期		50～550
黄体期		45～300
閉経後		21以下

ホルモン分泌の仕組み



卵胞刺激ホルモン（FSH）

FSHは、下垂体から分泌されるホルモンで卵巣に働きます。FSHは卵巣を大きくする働きを持ちます。

FSHを測定すると、下垂体の異常・卵巣の異常などを診断することができます。

エストロゲンの分泌を促すホルモン。更年期に入りエストロゲンの分泌が減ってくると結果値が上昇してきます。

基準値

（単位：mIU/ml）

性周期	検査項目	卵胞刺激ホルモン
卵胞期		3.01～14.72
排卵期		3.21～16.60
黄体期		1.47～8.49
閉経後		157.79以下

